

# たんぽぽ



# みんななかまだ

## 「思い出マンション」に寄せる思い

例年になく、早い時期に桜の開花のニュースが聞かれ、北里の桜もだいぶ花を開かせています。まもなく満開の時期を迎えることでしょう。

今、北里学級廊下の掲示板は、「思い出マンション」。マンションの窓には、入院しながら学習を続ける子どもたちが、一年間の思い出を絵や文で表現した作品が見えています。



「掲示物は子どもたちと一緒に作ろう！」こんな取り組みを始めてまもなく一年。子どもたちが生き生きとした表情で作品を作る姿が思い出されます。

今日、北里学級は修了式を迎えます。この一年間に、小学部 64 人、中学部 39 人の子どもたちがこの教室で学びました。自分の病気やけがと闘いながらも、いつも笑顔で教室に通っていた子どもたちから、私たち大人がたくさんのことを学ばせてもらった一年間でもありました。

## 一人ではないことの意義

もちろん病室でベッドの上で過ごしていても、決して一人ではありません。優しく理解ある看護師さんがいてくれて、入院生活の不安がないように包み込んでくれます。毎日、おうちの方がお見舞いに来てくれて、一日も早く退院できるように励ましてくれます。

でも、子どもたちにとって、今一番必要なのは仲間の力。北里学級には、仲間がいて、コミュニケーションを通した学習がおこなわれています。話し合ったり助け合ったり、時には対立しながら子どもたちは成長していきます。治療はつらいけどみんなで励まし合いながらがんばろう、そんな雰囲気これから大切にしていきたいと思っています。

北里学級を設置している麻溝台中学校は合唱活動が盛んです。希望者が参加する合唱団が、地域の小学校を訪問してコンサートを開くなど活発に活動しています。そして、生徒たちは音楽が盛んな学校をとっても誇りに思っています。

右の楽譜は、北里学級の学級歌です。作詞者の西田幸子さんと作曲者の橋田洋子さんは、昭和 52 年から 59 年 (1977~84) にかけて北里学級の先生をされていた方で、もう 30 年以上にわたって歌い継がれています。

北里学級では、去年の 2 学期から始業式終業式で、学級歌を歌う取り組みを復活しました。以前にも紹介したとおり、毎日の朝の会で「今月の歌」も歌っていますが、歌は私たちの心を解きほぐし、前向きな気持ちにしてくれます。

北里学級は、入院中の子どもたちにも学校教育を保障しようという理想を掲げて、1974 年 4 月 1 日に発足しました。来年は 40 周年に当たります。今まで多くの子どもたちが学んだ教室は、今日も意欲を忘れない子どもたちの声が聞こえています。

北里学級 学級歌  
「みんな なかまだ」

作詞 西田幸子  
作曲 橋田洋子

1. ときにはつらい こと - も ある サア  
たのしくすごそう みんななかまだ へと  
て をとりあ いは げましあつて きょう  
の いち - に ちだいじ にしよう

一、ときにはつらいこともある  
サア楽しくすごそう  
みんななかまだ  
手と手をとりあい  
励ましあつて  
きょうの一日  
だいじにしよう

二、ときにはさびしいこともある  
サア声をかけよう  
みんななかまだ  
勉強 遊びに  
いっしょにとりくんで  
あしたにむかって  
進んでゆこう

## そして、新しい学年へ

入院してくる子どもたちやそのご家族の事情は様々です。私たち院内学級担当は、子どもたちがどうすれば笑顔で教室に来てくれるのか、悩みながら試行錯誤を続けた毎日でした。いつも力になってくれた病院スタッフの皆さんやボランティアの方、そして何よりも、子どもたちとご家族の皆さんに心から感謝して平成 24 年度を終えたいと思います。

ありがとうございました。

光が丘小学校 教諭 井上唯志 介助員 廣瀬純子  
麻溝台中学校 教諭 上江健一  
(入学式・始業式は 4/8 です)

